

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年12月1日(14:00~14:30)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	8人	2人	0人	15人

前回の改善計画	・自宅と事業所の行き来が多い利用者のチェック表を作成し、送迎時に確認することによって忘れ物をなくす。/・通常の利用者の予定表とは別に、急遽利用の予定表を作成。日替わりリーダーを中心に確認し送迎の遅れをなくし、忘れ物がないようにする。/・管理者・ケアマネ・介護主任との間でチャットを設け、家族からの連絡などはすぐに書き込み、お互いで情報を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・内履きのままで帰宅させてしまうことが数回あった。 ・リーダーを中心に非定期的利用表を作成したことで、送迎の遅れなどが少なくなった。 ・日替わりリーダーも加えたチャットグループを作ったことで、情報共有の輪が広がった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	⑧	2	1	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6	⑦	2	0	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	⑦	⑦	1	0	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	⑧	2	1	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職員から家族への問い合わせや謝罪が必要な場面での直接の電話のやり取りができるようになった。 ・グループチャットや定例ミーティングを通して、利用者や家族にとって思いのある持ち物を情報共有し、送迎時に持ち帰りをすることで(利用者や家族の)不安を取り除くことができるようになった。 ・利用初期での対応で必要と考えられる方には、同じ職員で繰り返し訪問することで安心を与えている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・内履きのままで帰宅させてしまうことが数回あったが、工夫することなく繰り返してしまった。 ・急遽利用になった利用者や新規利用の最初の利用日など情報共有が遅れることがあった。 ・まだ小規模や介護の経験が少ない人にとって、利用者の不安を取り除くことができているか分からない。逆に不安になってしまう。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・全体でのグループチャットを浸透させ、情報共有が早く実施できるようすぐ書き込みを行う。 ・介護の経験が少ない職員は迎え時や介助時などに利用者の話を傾聴し、利用者との関係づくりを行う。 ・ミーティングではリーダーが申し送り帳・連絡帳・夜勤者との引き継ぎ帳を全て読み上げ、当日の出勤者全員で情報を共有できるようにする。 ・簡易なミスを繰り返した場合、ミスに気づけるような位置に付箋やテープを貼り付け対策する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年12月7日(14:00~14:30)
2.「～したい」の実現(自己実現の尊重)	メンバー	9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	5人	3人	0人	15人

前回の改善計画	・当面の目標にかかわる為においしい食事を提供できるようにする。利用者にも何が食べたいか具体的に確認し、日をおかないように早めに提供できるようにする。 ・おいしい食事を提供できたか振り返りを行い、次のテーマでは自分たちが利用者の為にすぐできる事を発見する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者に確認することで、食事を喜んでいる様子を伺うことができた。 ・調理することがない職員にとって「あまりできていない」と感じるが、食事は利用者にとって食欲をそそる内容と思う。 ・検食を行い各職員の調理内容を評価したことで、見た目も良くなった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	4	⑧	3	0	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	5	⑨	1	0	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	5	⑨	1	0	15
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	⑨	2	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者に確認したことで、今は「何が食べたい」を知ることができた。家族からも話を伺ったことで、好きな食事以外にも過去の趣味など知ることができた。 ・利用者においしい食事を提供したい気持ちが、利用者と更に関りたいへ繋がった。 ・職員全員がミーティングで発言している点が良い。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・調理していないので美味しい料理を提供することが出来なかった。 ・ミーティングでの職員の発言は個人意見で、みんなで本人の今したいことが本当に話し合われているかわからないと感じた。 ・利用者全員の当面の目標を知っていないとの意見が多かった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・経管栄養を行っている利用者が「口から食べたい」と望むなら、少しでも食べることができるよう医療と連携し、職員全員で情報を共有しみんなで利用者の当面の目標を知ることができるようになる。 ・調理を行わない職員でも美味しい食事を提供することが出来れば、食事介助でも利用者に全部食べて欲しい思いに繋がるとわかったので継続する。 ・利用者全員の当面の目標を知るのは難しいが、次回までに「前回よりは1人は多く知ることができた」と言えるようになる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月12日(14:00 ~14:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	⑧人	6人	1人	0人	15人

前回の改善計画	・ミーティングで気になる利用者がいた場合、その最善の介護法など話し合う。 ・ストレッチャー浴の利用者がシャワーチェアで入浴ができるようになっている。
前回の改善計画に対する取組み結果	・挑戦したが利用者からの要望や座位を保てない利用者だと怪我をさせてしまう可能性があり、実施に至ることがなかった。結果的に計画の甘さがあった!!!/・ミーティング以外でも介護法についてよく話し合ってきた。特にスライディングボード、シート、リフトなどの福祉用具を使った方法・手順は研修や職員間でも伝えあってきた。その他クッションを使った支援なども講師を招き何度も行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	5	⑦	3	0	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	⑧	6	1	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	⑨	3	0	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	⑪	4	0	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	⑨	5	1	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・スライディングボードやスライディングシートを使って安全・安心に移乗ができるようになった。利用者の中には自宅での移乗でボードを使って欲しい訴える方がいる。/・外部の医師や看護師、作業療法士と職員が連携して利用者に様々な支援が行えるようになってきた。/・利用者の介護度が高くなって、体調の変化に都度共有することが必要になってきている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・他の利用者が帰宅するのを見て、「自分も帰る時間」と思って急に立ち上がり転倒させてしまったことがあった。一瞬の心の変化に対応出来なかった。/・言語化し支援してきたが、利用者の体調の変化によって再度必要となってきた。/・まだ経験少なく介助法に不安がある。もっと経験を積んで夜勤もできるようになりたい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・福祉用具を使った支援を全員が1人で確実に出来るようになる。 ・ミーティングで送迎や入浴の担当者からその日の気付いたことを発言してもらう。 ・家族が気付いたことやその思いもミーティングで発言してもらい、日常での支援へ活かす	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 12月19日 (14:00 ~14:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	8人	0人	0人	15人

前回の改善計画	・利用者が活用する小規模以外のサービス（認知症デｲｸｱや福祉用具など）の把握を全員ができるようにする。小規模は利用の仕方が一人一人異なる為、なぜこの時間に送迎するのか、なぜ認知症デｲｸｱを利用していいのか等を把握し、地域での暮らしの支援ができるようになる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・まだまだ覚えきれていない部分もあるが小規模以外でのサービスを覚えてくるようになってきた。福祉用具サービスについて知るようになり、利用者の車椅子の背張り調整などを職員から依頼することで暮らしの支援ができるようになった。/・利用者の自宅での生活を知ることができるようになり、早めのお迎えや遅めの送りを判断できるようになってきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	5	⑨	1	0	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	⑧	3	0	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	5	⑧	2	0	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	⑩	3	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用していない日にどのように過ごしているか、考えることができるようになった。 ・外出して帰宅困難になってしまう独居の利用者を職員全員で24時間体制の支援を行うことができた。 ・地域の商店や病院等に利用者と一緒に掛け、関係が途切れないように、また何かあれば連絡をもらえるよう関係を作ってきた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・まだ併用するサービス等がいつ利用なのか、何時からなのかなどが曖昧になり送迎の時間を間違ってしまうなど他のサービスに迷惑をかけてしまうことがある。 ・近隣の方に挨拶を行っているが、それ以上話すことがないので支援になっていないのかと考えてしまう。 ・民生員の方や地域の資源はわからない。管理者やケアマネに情報を得る事はある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者への支援につながると考え、活用する小規模以外のサービス（認知症デｲｸｱや福祉用具・訪問診療・訪問看護）の把握を全員ができるようにする。※計画を継続 ・職員が誰でも家族へ連絡ができるようにし、家族を含めた支援ができるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年12月22日(14:00~14:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	7人	6人	2人	0人	15人

前回の改善計画	・定期的な利用の表と、非定期的利用の表を作成し、忘れ物やミスなどを少なくする。 ・グループチャットを作り、伝え忘れをなくする。 ・リーダーはミーティングで連絡帳の家族からの要望を必ず伝える。
前回の改善計画に対する取組み結果	・リーダーを含めたグループチャットを作り始めて、利用者への支援につながりつつある。 ・定期的な利用の表と、非定期的利用の表を作成して送迎ミスが少なくなったが、まだその他のミスが見られた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	⑥	⑥	3	0	15人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	⑩	5	0	0	15人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	⑨	6	0	0	15人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	⑦	⑦	1	0	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・柔軟に「通い」「訪問」「宿泊」が行えている。家族の希望で連泊が何度かあったが、家族から「楽しんでゆっくり過ごすことができた」と連絡があった。/・利用者の体調の変化に気づき、ミーティングでも共有している。/・包括支援センターと連携して利用者の心配事に取り組んでいる。/・他のサービスと関わり、利用者の支援を行っている/・/・非定期的利用者が複数受け入れている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者の心の変化に気付かず、転倒させてしまった。/・他のサービスの利用日、家族の仕事に合わせた非定期的利用があり、利用者の予定を覚えることが困難。/・家族の希望を全て傾聴することができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・非定期的利用者が安心して利用できるよう今後も工夫していく。 ・家族や本人が体調不良であっても、本人が安心して過ごせるように対応をする。 ・家族がゆっくり休んで、本人が在宅での生活ができるよう柔軟にサービスの提供を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年12月26日(14:00~14:30)
6. 連携・協働	メンバー	9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	⑨人	6人	0人	0人	15人

前回の改善計画	・ウィズコロナの中近隣保育園とのつながりを絶やさず、今後も交流できるようにする。そして何らかの形で職員全員が関われるようになる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・近隣の保育園との敬老会やクリスマス・勤労感謝など交流を実施し、利用者も職員も楽しく元気をもらった。 ・交流回数も交流する園児も増え、感染対策を実施し多くの職員が関わる事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	4	⑨	2	0	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	⑦	6	0	15
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	8	6	0	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	⑫	3	0	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職員の多くが保育園との交流ができた。/・職員が作ったプレゼントも渡すことができ園児も喜んでくれたと思う。/・面会や施設の見学に多くの方が来てくれている。/・他のサービス機関と職員が連携やお願いごとなどできるようになっている。/・他のサービス機関と連携し利用者の支援に繋がっている。/・職員では地域の各種機関との交流には参加できていないが、管理者やケアマネが参加している。/・医療機関が開催する研修に参加したことがある。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の活動に参加していない。/・地域の活動に参加できる時間を取れない。/・各種機関のイベントの情報が入らない。/・各種機関のイベントに寄宮地区だけだと思ってしまった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・継続してウィズコロナの近隣保育園とのつながりを絶やさず、今後も交流できるようにする。まだ関わったことがない職員も関われるようになる。/・寄宮地区だけでなく自らの居住する場所も地域と考え、イベントなどに参加できるようにする。/・今後も管理者やケアマネは自治体や地域包括支援センターとの会議に参加し、職員間で情報を共有していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月5日(14:00~14:30)

7. 運営

メンバー 9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	・地域の困っている人がいれば、どのような形であれ、みんなで協力し合ってつながりを持ってもらう。 ※職員が事業所にいながら、どのようにして地域の困っている人と関わっているのか再確認する。 ・地域自治会への空き缶回収の協力は継続して行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・空き缶回収に協力している。/・地域の困っている人に関わることができた。/・送迎時などで困っているかもしれない人を見かけたら、ミーティングか上司に報告し情報を共有している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	⑪	2	0	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	⑪	1	0	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	⑨	2	0	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	⑧	5	1	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・送迎時などで地域からの苦情があればミーティングで報告し、別の手段で実施するなど改善している。 ・家族から苦情があったときに、すぐにミーティングで話し合い職員及びケアマネから家族へのお詫びを行い修正した。/・空き缶回収の協力は3年近く続いている。/・地域の方から建物廻りの環境整備についてお礼を言われた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員として事業所のあり方など意見を言えているかはわからない。ただ、ミーティングでは報告はできている。/・苦情があった内履きスリッパでの帰宅を繰り返してしまった。都度お詫びしミーティングで報告するが、運営に活かされていなかった。/・送迎時などで忘れ物をするときは、自宅と事業所の物の行き来で預かる物が多く忘れやすい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・忘れ物防止の為、利用者のチェック表を作成する。 ・地域自治会への空き缶回収の協力は継続して行う。 ・ミーティングや定例会で率先して発言し、悪いと思う点は全員で修正できるようにする。(評価は次のサービス評価で管理者が行う。)	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年1月8日(14:00~14:30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	⑧人	3人	0人	15人

前回の改善計画	・ 寄宮改善活動チームの取り組みを最後まで実践する。 ・ 研修には全員参加し、その後の研修内容を職員間で情報共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ 改善活動でチームとして最後まで取り組み、最終的には全国の発表会にも参加し賞をもらった。 ・ 研修には全員参加し、研修の報告書を作成し職員間で共有した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	⑦	⑦	1	0	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6	⑦	2	0	15
③	地域連絡会に参加していますか	2	3	⑤	⑤	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	⑧	7	0	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 様々な研修に参加している。喀痰吸引等研修は3名が終了した。その他改善活動の研修など頑張った。 ・ 「高齢者虐待・人権」についての研修を職場内で行った。/・ 資格取得の為の研修に参加できた。 ・ インシデントレポートだけでなく、ヒヤリハット報告も習慣づけリスクマネジメントに取り組んだ。 ・ 医療的ケア教員の講習を受けてもらった結果、喀痰吸引等研修の実地を事業所内で行えた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 地域連絡会に管理者が参加しているが、職員は参加していない。 ・ スキルアップの為の研修に参加していない。 ・ 認知症実践者研修に参加させることができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ 認知症実践者研修に職員が参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年1月9日(14:00~14:30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	⑦人	5人	1人	15人

前回の改善計画	継続：・「身体拘束・虐待」の(オンライン)研修を受け、原因と対策を知る ・電子カルテの記録で不適切な文言が無いか、4カ月に1回程度で確認する。 ※方法は抜き打ちとし、一定の期間を設け実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・電子カルテの記録のチェックは4カ月に1回はできなかった。年に1回はできた。 ・「身体拘束・虐待」の研修は実施した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	⑪	4	0	0	15
②	虐待は行われていない	⑬	2	0	0	15
③	プライバシーが守られている	⑩	4	1	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	⑧	6	1	0	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	⑧	0	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束や虐待は行っていない。/・利用者に優しく接している。/・成年後見人制度を利用している利用者がいる。/・家族からの虐待に地域包括支援センターの職員と取り組んでいる。/・成年後見人制度についての理解ができるようになった。/・成年後見人制度の活用が望ましいと考える利用者について、地域包括支援センターの職員へ相談することができるようになった。/・電子カルテのチェックで不適切な部分を発見した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・通いの利用者が多く日中のお昼寝では、完全にはプライバシーが守られていない場合がある。 ・電子カルテの記録のチェックは4カ月に1回はできなかった。年に1回はできた。 ・電子カルテの記録で利用者の顔写真が入っていたりするなど不適切な部分があった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・電子カルテの記録で不適切な文言などが無いか、1年に1回確認して今後継続できるようにし職員間で情報共有する。 ※方法は抜き打ちとし、一定の期間を設け実施する。	

○

○